

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施計画期間	平成26年～平成30年度（5年間）																				
事業実施地区名 (都道府県名)	上川南部森林計画区 (北海道)		事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当計画区は、石狩川水系の源流域及び中流域に位置する上川南部森林計画区の国有林野159,529haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹とミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹からなる針広混交林、及び針葉樹を主体とする森林からなる天然林が約8割を占め、残りの約2割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、流域内のみならず、下流域である道央地域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点から水源かん養機能の発揮が求められている。さらに、層雲峡地区、十勝岳地区等は、それぞれ土石流災害、火山泥流災害の危険地域となっており、山地災害防止機能の発揮も期待されている。</p> <p>一方、石狩川源流部の森林は、多くが大雪山国立公園や大雪山忠別川源流部森林生態系保護地域等の保護林等の指定地域であり、高山地帯は特別天然記念物に指定され、周辺の森林と併せ、野生生物の生息域としての役割が大きい。同時に登山等森林レクリエーションを目的とした利用者も多く、周辺には受入等のための施設も多く所在している。また、石狩川中流域の旭川市及び周辺には嵐山神居自然休養林、外国樹種見本林、笹の平森林スポーツ林等、市民の森林レクリエーション・保健休養に利用される区域が多く所在している。</p> <p>林業・木材産業は、地域の豊富な木材資源を背景として、農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところである。とくに旭川市は木製品・バルプ等の木材加工業が発達しており、道北地域の木材産業の拠点となっている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工をしている。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																							
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">主な事業内容</td> <td style="width: 25%;">森林整備</td> <td style="width: 25%;">更新面積</td> <td style="width: 25%;">310 ha</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>保育面積</td><td>8,451 ha</td> </tr> <tr> <td></td><td style="width: 25%;">路網整備</td><td>開設延長</td><td>61.0 km</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>改良延長</td><td>1.0 km</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">総 事 業 費</td><td colspan="3" style="text-align: right;">2,196,059 千円</td></tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	310 ha			保育面積	8,451 ha		路網整備	開設延長	61.0 km			改良延長	1.0 km	総 事 業 費	2,196,059 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	310 ha																					
		保育面積	8,451 ha																					
	路網整備	開設延長	61.0 km																					
		改良延長	1.0 km																					
総 事 業 費	2,196,059 千円																							
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">総 便 益 (B)</td> <td style="width: 25%;">15,274,280 千円</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td><td>2,551,714 千円</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B / C)</td><td>5.99</td><td></td><td></td> </tr> </table>				総 便 益 (B)	15,274,280 千円			総 費 用 (C)	2,551,714 千円			分析結果 (B / C)	5.99										
総 便 益 (B)	15,274,280 千円																							
総 費 用 (C)	2,551,714 千円																							
分析結果 (B / C)	5.99																							
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。 																							

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施計画期間	平成26年～平成30年度（5年間）																				
事業実施地区名 (都道府県名)	上川南部森林計画区 (北海道)		事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当計画区は、石狩川の支流である空知川の上流域及び鶴川の上流域に位置する上川南部森林計画区の国有林野114,506haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹とミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹からなる針広混交林、及び針葉樹を主体とする森林からなる天然林が約7割を占め、残りの約3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、流域内のみならず、下流域である道央地域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。また、当地域内には大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園などの貴重な自然環境があり、周辺の森林と併せ、野生生物の生息域としての役割が大きく、この生息環境の保全に努めることが必要である。</p> <p>林業・木材産業は、地域の豊富な木材資源を背景として、農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところである。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																							
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 45%;">70 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,492 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="width: 15%;">路網整備</td> <td style="width: 15%;">開設延長</td> <td style="width: 45%;">23.3 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 km</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">総 事 業 費</td> <td></td> <td></td> <td>1,222,358 千円</td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	70 ha			保育面積	5,492 ha		路網整備	開設延長	23.3 km			改良延長	1.1 km	総 事 業 費			1,222,358 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	70 ha																					
		保育面積	5,492 ha																					
	路網整備	開設延長	23.3 km																					
		改良延長	1.1 km																					
総 事 業 費			1,222,358 千円																					
費用対効果分析	総 便 益（B） 9,315,667 千円																							
	総 費 用（C） 1,618,760 千円																							
	分析結果（B／C） 5.75																							
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視するべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																							

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)			事業実施計画期間	平成26年～平成30年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	網走西部森林計画区 (北海道)		事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署																					
事業の概要・目的	<p>当計画区は、湧別川流域に位置する網走西部森林計画区の国有林野105,405haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、ミズナラ、シナノキ、カンバ類、トドマツ、エゾマツ等が混交する天然林が約7割を占め、残りの約3割が主に昭和30年代に造成されたトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の人工林となっている。</p> <p>当地域の森林は、大部分が保安林に指定されており、地域の水源として生活用水や基幹産業である農業や水産業の振興に資する等、水源かん養や山地災害の防止等の役割が期待されている。また、網走国定公園などの貴重な自然環境があり、周辺の森林と併せ、野生生物の生息域としての役割が大きい。また、北大雪野外スポーツ地域、丸瀬布の山彦の滝風景林、サロマ湖畔自然休養林等の森林については、保健文化機能の発揮が期待されている。</p> <p>一方、当地域は、従来から豊かな森林資源を利用して林業・林産業が発達してきたところであり、近年は、森林認証の取得拡大を進め、森林の整備、加工流通体制の整備等のオホーツクブランド材の普及に向けた取り組みを行っている。また、木質バイオマスのエネルギー利用について、活発な動きができている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">325 ha</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>保育面積</td> <td>8,518 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>72.4 km</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 km</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>総事業費</td> <td colspan="3" rowspan="2">1,642,711 千円</td> </tr> </table>					主な事業内容	森林整備	更新面積	325 ha		保育面積	8,518 ha			路網整備	開設延長	72.4 km			改良延長	0.1 km		総事業費	1,642,711 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	325 ha																						
	保育面積	8,518 ha																							
	路網整備	開設延長	72.4 km																						
		改良延長	0.1 km																						
	総事業費	1,642,711 千円																							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">費用対効果分析</td> <td style="width: 10%;">総便益(B)</td> <td style="width: 10%;">11,252,791 千円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>総費用(C)</td> <td>2,277,727 千円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>分析結果(B/C)</td> <td>4.94</td> </tr> </table>					費用対効果分析	総便益(B)	11,252,791 千円		総費用(C)	2,277,727 千円		分析結果(B/C)	4.94												
費用対効果分析	総便益(B)	11,252,791 千円																							
	総費用(C)	2,277,727 千円																							
	分析結果(B/C)	4.94																							
森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																								
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。 																								

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)											
事業実施地区名 (都道府県名)	網走西部森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署									
事業の概要・目的	<p>当計画区は、渚滑川流域に位置する網走西部森林計画区の国有林野83,838haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、ミズナラ、シナノキ、カンバ類、トドマツ、エゾマツ等が混交する天然林が約7割を占め、残りの約3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の人工林となっている。</p> <p>当地域の森林は、大部分が保安林に指定されており、地域の水源として生活用水や基幹産業である農業や水産業の振興に資する等、水源かん養や山地災害の防止等の役割が期待されている。また、天塩岳道立自然公園に指定されている森林や浮島崎風景林、滝上渓谷自然休養林、北見富士風景林等は、森林景観・自然環境の維持を図ることが期待される森林であり、また、野生生物の生息域としての役割が大きい。</p> <p>一方、当地域は、従来から豊かな森林資源を利用して林業・林産業が発達してきたところであり、近年は、森林認証の取得拡大を進め、森林の整備、加工流通体制の整備等のオホーツクブランド材の普及に向けた取り組みを行っている。また、木質バイオマスのエネルギー利用について、活発な動きができている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>											
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; width: 30%;">主な事業内容</th> <th style="text-align: left; width: 30%;">森林整備</th> <th style="text-align: left; width: 40%;">更新面積 199 ha 保育面積 8,161 ha</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">路網整備</td> <td>開設延長 71.2 km 改良延長 0.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">総事業費</td> <td>2,144,073 千円</td> </tr> </tbody> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積 199 ha 保育面積 8,161 ha		路網整備	開設延長 71.2 km 改良延長 0.4 km		総事業費	2,144,073 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積 199 ha 保育面積 8,161 ha										
	路網整備	開設延長 71.2 km 改良延長 0.4 km										
	総事業費	2,144,073 千円										
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">総便益 (B)</td> <td style="width: 33%;">12,855,486 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>2,639,276 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.87</td> </tr> </table>			総便益 (B)	12,855,486 千円	総費用 (C)	2,639,276 千円	分析結果 (B/C)	4.87			
総便益 (B)	12,855,486 千円											
総費用 (C)	2,639,276 千円											
分析結果 (B/C)	4.87											
森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が發揮されることから事業の必要性が認められる。											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>											

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)																	
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署															
事業の概要・目的	<p>当事業は、十勝森林計画区の北東部に位置する国有林野128,302haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹にミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹が混交する針広混交林等の天然林が約8割を占め、残りの約2割が昭和30年代以降に造成されたトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>当計画区の中央を南下する利別川の川沿いに陸別町、足寄町、本別町の市街地が発達するとともに、国有林内には水源地が点在していることと、平野部には耕地が広がっていることから、地域の飲料水、営農用水等の各種用水の確保、水質保全、洪水による被害の防止等のため、水源かん養機能や山地災害防止機能の発揮が期待されている。</p> <p>また、雌阿寒岳やオンネトー周辺の国有林野は、阿寒国立公園に指定され、トドマツ、アカエゾマツの針葉樹林が広がっており、周辺の森林と併せ、野生生物の生息域としての役割が大きく、自然環境の維持が望まれるとともに、健休養の場としても活用されている。</p> <p>当地域は豊富な木材資源を背景として林業・木材産業が発展してきたところであり、民有林の資源を背景としたカラマツ加工、国有林資源を背景とした針葉樹大径材等の加工が盛んで、地域に重要な役割を果たしている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資すること目的とする。</p>																	
主な事業内容	<table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,016 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>24,224 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>48.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="2">3,009,346 千円</td></tr> </table>			森林整備	更新面積	1,016 ha		保育面積	24,224 ha	路網整備	開設延長	48.6 km		改良延長	0.0 km	総事業費	3,009,346 千円	
森林整備	更新面積	1,016 ha																
	保育面積	24,224 ha																
路網整備	開設延長	48.6 km																
	改良延長	0.0 km																
総事業費	3,009,346 千円																	
費用対効果分析	<table> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td colspan="2">25,868,906 千円</td></tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td colspan="2">4,655,492 千円</td></tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td colspan="2">5.56</td></tr> </table>			総便益 (B)	25,868,906 千円		総費用 (C)	4,655,492 千円		分析結果 (B/C)	5.56							
総便益 (B)	25,868,906 千円																	
総費用 (C)	4,655,492 千円																	
分析結果 (B/C)	5.56																	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																	

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)																	
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署															
事業の概要・目的	<p>当事業は、十勝森林計画区の南西部に位置する国有林野139,838haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、トドマツ、エゾマツにミズナラ、シナノキ、カンバ類等が混交する針広混交林等の天然林が約9割を占め、残りの約1割が主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>当地域内の日高山脈は、急峻な地形が多く、上部から稜線に至る地域に所在する国定公園や森林生態系保護地域より下部の区域は、土砂の流出崩壊等の山地災害による被害の防止のための国土保全機能の発揮を第一とすることが期待されている。また、各種用水の確保を目的とするダムの周辺及び上流の国有林野には、水源かん養機能の発揮が期待されている。当地域には、日高山脈襟裳国定公園及び日高山脈中央部森林生態系保護地域が含まれており、野生生物の生息域としての役割が大きく、豊富な森林生態系の維持が期待されている。</p> <p>当地域は豊富な木材資源を背景として林業・木材産業が発展してきたところであり、民有林の資源を背景としたカラマツ加工、国有林資源を背景とした針葉樹大径材等の加工が盛んで、地域に重要な役割を果たしている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																	
主な事業内容	<table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>350 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,899 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>44.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.9 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="2">2,177,414 千円</td></tr> </table>			森林整備	更新面積	350 ha		保育面積	8,899 ha	路網整備	開設延長	44.0 km		改良延長	0.9 km	総事業費	2,177,414 千円	
森林整備	更新面積	350 ha																
	保育面積	8,899 ha																
路網整備	開設延長	44.0 km																
	改良延長	0.9 km																
総事業費	2,177,414 千円																	
費用対効果分析	<table> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td colspan="2">17,418,895 千円</td></tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td colspan="2">3,065,593 千円</td></tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td colspan="2">5.68</td></tr> </table>			総便益 (B)	17,418,895 千円		総費用 (C)	3,065,593 千円		分析結果 (B/C)	5.68							
総便益 (B)	17,418,895 千円																	
総費用 (C)	3,065,593 千円																	
分析結果 (B/C)	5.68																	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																	

事 前 評 値 個 表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)																										
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署																								
事業の概要・目的	<p>当事業は、十勝森林計画区の北西部に位置する国有林野150,445haを対象としている。</p> <p>この地域の森林は、トドマツ、エゾマツにミズナラ、シナノキ、カンバ類等が混交する針広混交林等の天然林が約9割を占め、残りの約1割が主として昭和30年代以降に造成されたトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>十勝川及びこれらの支流には、各種用水の確保と洪水の防止を目的とする多くの大規模なダムを有し、そのダムの周辺及び上流域の国有林野は、水源かん養機能の発揮が期待されている。十勝川上流部には、十勝川源流部原生自然環境保全地域を擁し、また、この区域の多くは大雪山国立公園に指定されており、原生的な天然林の維持・保存が求められるとともに、その周辺地域についても、野生生物の生息域としての役割が大きく、景観の保全や森林生態系の維持が期待されている。さらに、自然休養林に指定されているトムラウシ温泉周辺、然別峠の国有林野等については、保健休養の場として活用され、その管理が期待されている。</p> <p>一方、当地域は豊富な木材資源を背景として林業・木材産業が発展してきたところであり、民有林の資源を背景としたカラマツ加工、国有林資源を背景とした針葉樹大径材等の加工が盛んで、地域に重要な役割を果たしている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、生物多様性の保全、森林景観の維持、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>なお、路網整備に当たっては、野生生物の生息森林取扱い方針に基づき、営巣保護区域の設定、生息環境の保全等に努めるとともに、木材を利用するなど景観に配慮した施工を計画している。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資すること目的とする。</p>																										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 40%;">森林整備</td> <td style="width: 30%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">114 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,652 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>40.8 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: right;">総 事 業 費</td></tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: right;">1,887,049 千円</td></tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	114 ha		保育面積	11,652 ha			路網整備	開設延長	40.8 km			改良延長	1.0 km		総 事 業 費				1,887,049 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	114 ha																								
	保育面積	11,652 ha																									
	路網整備	開設延長	40.8 km																								
		改良延長	1.0 km																								
	総 事 業 費																										
	1,887,049 千円																										
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益 (B)</td> <td style="width: 70%;">17,194,328 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>2,680,186 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B / C)</td> <td>6.42</td> </tr> </table>			総便益 (B)	17,194,328 千円	総費用 (C)	2,680,186 千円	分析結果 (B / C)	6.42																		
総便益 (B)	17,194,328 千円																										
総費用 (C)	2,680,186 千円																										
分析結果 (B / C)	6.42																										
森林管理 局事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																										